

校番	031	ホームルーム活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
----	-----	----------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立松永高等学校	校長	宮原 敏典	生徒指導主事	山田 和弘
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『生徒会役員選挙』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協調性・表現力」	3	「責任感・連帯感」	1	「使命感」	2

取組のねらい

学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、生徒同士で協力し、役割を分担して生徒会活動を実践していく組織をつくらせる。そのための合意形成の一つとしての選挙を生徒会組織への参画意識向上の足掛かりとする。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『リアリティの追及』
----------	-----------------------

- 第1回選挙管理委員会の開催
本校の選挙管理委員会会則に基づき、生徒会長1名、生徒会副会長2名の選出に向けて準備を進める。
- 立候補者の受付
- 第2回選挙管理委員会の開催
届出状況を確認し、立会演説会等の準備を進める。
- 立候補者の選挙運動
立候補者名を掲示し、全校へ紹介する。立候補者は自主的に選挙運動を実施する。
- 立会演説会の開催
選挙管理委員の進行により、推薦者と立候補者が演説を行う。
- 投票
教室で選挙管理委員から投票用紙を配付し、記入した投票用紙を投票所で投函する。
- 開票・集計作業
選挙管理委員が開票し、集計する。
- 開票結果の発表
翌日のSHRで選挙管理委員長が全校放送する。
- 当選証書授与式
校長から当選証書を授与する。

満18歳以上の者が選挙権を有することとなり、主権者教育が進められてきたこともあって、本校では、リアリティを持たせるため、福山市選挙管理委員会事務局と連携し、投票箱を借用して投票させている。



取組の成果と課題

立候補者と推薦者が自主的に挨拶運動に参加していたり、立会演説会では、仲間を惹きつける演説を行っていたりして、選挙活動としての雰囲気は作られてきている。

課題としては、生徒会活動として、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだして解決するための主体性を持たせることがとても大きな課題である。